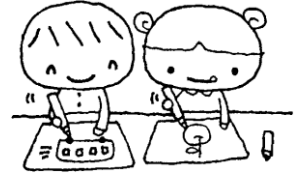


# おひさま



令和5年4月28日

上島幼稚園では子どもたちの「豊かな発想！豊かな表現！」を求めて毎日の保育を進めています。愛情いっぱい環境の中で、教えるべきことは教え、発想を大切にすべきところでは、子どもたちの発想を引き出すようにしています。その月の子どもたちの表れの中から「子どもたちの気持ち、発想、豊かな表現」がキラリと光るものを「おひさま」としてお伝えします。

## <4月の満3歳クラス>

### ○初めての粘土遊び

初めて粘土遊びをしました。初めは「出来ない。」「やって。」と言っていたお友だちでしたが、教師がお団子を作って見せたり一緒に作ってみたりすると楽しくなって、自分からやってみようとするようになり「出来た。」と喜ぶ姿が見られました。いろいろなことに出来たという喜びを味あわせながら進めていきたいです。

### ○上靴も自分で履いてるよ

足を出したまま、なかなか、自分で上靴を履こうとしなかったお友だちも、座って両手で上靴をもって、自分で履こうとするようになりました。たいへんうれしいです。自分のことを自分でしようとする子になってほしいです。お家でも、ぜひ応援をお願いします。

## <4月の年少星組さん>

### ○初めてのお弁当

初めてのお弁当の日は、朝から「お弁当食べたい。」「お弁当、まだ。」と楽しみにしている様子でした。いよいよお弁当の時間、先生に助けてもらいながらお弁当を食べる準備を自分ですることができました。「いただきます。」嬉しそうにお家の人に作ってもらったお弁当を残さず食べる子がほとんどでした。お弁当作ってくれてありがとう。

帰りの会で「明日何する？」と聞くお友だちが出てきました。園生活が楽しくなってきたようです。

### ○大型遊具で遊んだよ

14日に大型遊具のお約束「階段は登るだけ、降りません。」を聞いて大型遊具で遊びました。朝から「大きい滑り台、行きたい」「大きい滑り台、まだ。」とワクワクしている様子です。1回練習して自由に遊ぶとユラユラ橋で慎重な子もいましたが滑り台を何回も笑顔で滑って楽しみました。

17日から年長年中さんと一緒に朝の外遊びが始まり、大型遊具の上から「ヤッホー。」と手を振ってくれます。のびのびと遊んでいます。

#### <4月の年中花組さん>

##### ○自己紹介をしたよ

自己紹介では、自分の席の前に立ち名前と花組さんと頑張ることを発表しました。もじもじする子もいましたがみんな自己紹介ができました。頑張りたいことでは、こんな内容が出てきました。

- ・なわとびをがんばりたい。
- ・かけっこが速くなりたい。
- ・てつぼうをがんばる。
- ・消防に入りたい。
- ・みんなと遊びたい。
- ・早起きをしたい。
- ・友だちと仲良くしたい。
- ・ザリガニの一本づりをしたい。

##### ○そらまめくんのベット

絵本「そらまめくんのベット」をイメージした絵を描いています。始めに「そらまめくんのベット」の絵本を読みました。「そらまめくんは緑色」「ベットはふわふわにしたい。」そらまめくんのお顔は「にこにこにする。」「お口を開けているところにする。」と自分で考えて描く姿がありました。そらまめくんの周りはクレパスで描いた草の上に絵具をつけたタンポで花を咲かせました。「ピンクの花かわいい。」「楽しい。」と言いながらたくさん花を咲かせました。なかなか大作です。5月の掲示になります。ぜひご覧ください。

#### <4月の年長雪組さん>

##### ○雪組で頑張ることを発表したよ

緊張していましたが、教室の前に立って、自分なりに頑張りたいことを考えて発表しました。こんな内容でした。

- ・縄跳び
- ・鉄棒
- ・後ろ跳び100回
- ・逆上がり
- ・鍵盤ハーモニカ
- ・友だちたくさんつくる
- ・運動会
- ・ピアノ
- ・サッカー
- ・ダンス
- ・お勉強
- ・生活発表会

##### ○チューリップの絵を描きました

折り紙でチューリップを折りました。花組さんで1回やったことがあるので「覚えている」という子もいました。自分で頑張って進める姿が見られました。描く絵もイメージしていてチョウチョを描きたいから下の方にチューリップを貼ろうと自分で考えていて感心しました。チューリップの葉を描くときには図鑑を見てチューリップの葉の形を調べました。「ぐねぐねしている。」「とんがっている。」と言いながら形を表現していました。チョウチョの他にはテントウムシやダンゴムシ、テントウムシも描いていました。楽しい春の絵が描けたね。さすが年長さんです。

##### ○年少さんのお世話を上手にしてくれているよ

帰り年長さんが年少さんをお部屋まで迎えに行き靴箱まで連れてきてくれています。始めは靴箱の場所、上靴をしまう所を教えてください、運動靴を出して年少さんに持たせてくれたりしていました。それから急いで自分が靴を履いて、年少さんが靴を履くのを助けてくれていました。ちょっと助けすぎかな。年少さんが自分でやらないといけないのにと思っていたら、しばらくすると、年長さんは靴箱の場所だけ教えるだけになっていて、年少さんが、ちゃんと自分で上靴をしまい、運動靴を出すようになっていました。すごい。上手。優しい心だね。